



学校の教育活動の中には、「〇〇の秋」がいっぱい！！

校長 北野 美紀

朝夕涼しくなり、秋風が心地よく感じられるようになってきました。学校は様々な実りの秋を迎えています。

まずは、「スポーツの秋」。運動会に向けた練習が熱を帯びています。教員の声かけ（励まし、賞賛、アドバイス）に一人一人が考え行動し、完成度が高くなってきています。応援団の練習も本格的になり、先日の全校練習の際は、赤白が競って応援練習をしました。放送の音楽が聞こえないほど、元気で大きな声で歌う「ゴーゴーゴー」は圧巻でした。今年も、全校児童が一同に校庭に集い実施しますので、一体感のある運動会になると確信し今からワクワクしています。是非、本番は、子ども達の頑張りに大きな声援をお願いします。決して広い校庭とは言えず、保護者の皆様にはご不便をおかけしますが、毎年譲り合って観覧いただきありがとうございます。今年も、全校児童が、ご家族の声援を受け、力いっぱい輝けるよう、ご理解ご協力をお願いします。10月31日（金）は、ミニバスケットボール部が参加する、市内ミニバスケットボール大会も開催されます。今年が最後の大会。悔いの無いように試合を楽しんで欲しいと思っています。

次に、「芸術の秋」。吹奏楽部が23日（木）に市内音楽発表会に参加します。コンクールの曲以外に新しい曲を練習中。更に素敵な音色を響かせてくれるのが楽しみです。（市内音楽発表会も今年で最後となります。）

「校外体験学習の秋」もあります。1年生は15日（水）に東武動物公園へ行ってきました。友だち同士で園内を巡るグループ活動に挑戦。6年生は、26～27日1泊2日で日光への修学旅行が待っています。学校では体験できない歴史に触れ、紅葉が美しい自然を満喫する2日間。友だち同士で協力し合うからこそ味わえる充実感や達成感を感じる最高の思い出となるよう願っています。

最後に「読書の秋」。秋の季語に「灯火親しむべし」という言葉があります。これは、古代中国の詩人・韓愈の言葉に由来し、「秋になると涼しくなり夜が長くなるので、灯りの下で読書を楽しむのがよい」という意味です。「読書の秋」という言葉の由来とも言われています。また、夏目漱石の『三四郎』にも引用されている言葉です。

読書の良い点（メリット）は、

- ① 語彙力や知識が増え視野が広がる
- ② 想像力や共感力が高まる
- ③ 脳が活性化し集中力や思考力が向上する
- ④ ストレスが軽減され心の余裕が生まれる
- ⑤ コミュニケーション能力が向上し人間関係が豊かになる 等

（次ページへ続く）

「なるほど」と、うなずけるものばかりです。9月の全校集会の後、校長室前廊下に、私の読んだ本を展示していたところ、多くの児童が見に来てくれ、「読みたい!」というリクエストを受け、貸し出しも行いました。今年度、何度か本を紹介する中で、子ども達は、「本が好き」であり、ただ「きっかけ」がないとなかなか手が伸ばせないのだと感じました。ボランティアの方による読み書かせは年間通してしていただいておりますが、「読書の秋」にちなみ、学校図書館司書の方と図書ボランティアの方々のお力も借り、読書月間の取り組みを行います。ブックトラックを活用し移動図書館を実施します!一人でも多くの子が、たくさんの本と出会い、本の楽しさを感じて欲しいと思っています。

10月10日(金)は前期終業日となり、全校児童に前期の通知票を渡します。

10月14日(火)から後期開始となります。学びの充実に向け、外部人材の活用や生活科、総合的な学習の時間等で子ども達が主体となって行う活動も目白押しです。また、今年度は、3年生以上で専科教員による指導や一部教科担任制を取り入れ、より多くの教員が子ども達に関わり見守れるようにしているところです。後期は、より一層、子ども達一人一人を多面的に理解し、多様な関わりを進められるよう、教育活動の充実を図っていきます。

ご理解ご協力のほど、よろしくお願いします。